

卒業アルバム用の「アルバムスクラム」披露

インターネット写真販売を手掛けて今年で15周年を迎えたエグゼック。写真館に寄り添ったネット販売システム「フォトストア」を構築し、この分野のパイオニアともいえる存在だ。

今回のPHOTO NEXTでは、既に100万人の利用実績を持つ「フォトストア」の魅力をマンツーマン形式で来場者にアピールすると共に、今年の「目玉」でもある「アルバムスクラム」を大々的に披露した。

このアルバムスクラムとは、クラウド上で卒業アルバムに使用する写真のセレクト、校正確認を行うことができるもので、高性能顔認証AIを搭載していることで、写真セレクト時、ある

いは校正確認時のいずれのタイミングでもそれぞれの生徒が写っている回数を自動カウントしてくれるというもの。これまでアナログ作業でかかっていた時間・コストを大幅に削減することができるクラウドサービスだ。

すでに300校の導入実績を持ち、レイアウトデータを登録し、顔認証AI「かお探」を使用すると、生徒が何回写っているかカウントし、さらに登場回数が少ない生徒への入れ替えも簡単にできる。これまで、先生が「正」の字でカウントしていた作業がなくなったことで、学校から大きな反響を呼んでいる。

2020年度、千葉の小学校で使用

された事例が、文部科学省の「全国の学校における働き方改革事例集」に掲載されるなど、各方面から高い関心が寄せられている。さらに「ギガスクール構想」にも取りあげられ、生徒に総合学習の時間でアルバムスクラムを使っているの授業が行われるなど、その注目度は高いものがある。

ブースでは、写真館、学校の先生、アルバム会社による「アルバムスクラムでどう変わる？10年後の卒アル制作」というテーマでオンラインによる座談会が開催され、写真館や学校に大きなメリットをもたらすシステムとして注目を集めた。



ネット販売システムのパイオニア・エグゼック



アルバムスクラムに興味を示す来場者



アルバムスクラムのオンライン座談会



「最新技術で卒アルのお手伝い」生徒の声も

セミナーも多彩な内容で



座談会に関心を寄せる来場者